

地方創生に関するアンケート結果報告書

【調査目的】

この調査は、令和2年度からスタートする「第2期琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するにあたり実施しました。

少子高齢化による人口減少が進む中、琴浦町が元気であり続けるためにはどんなことが必要なのか、町民の皆さんの意見を参考とするものです。

【実施期間】 令和元年9月20日～10月15日

【対象者】 16歳以上の町民（無作為抽出）2,000人

【実施方法】 郵送

【回答率】 25.5%（回答者510人）

このアンケート結果について次のとおり報告します。

【問合せ先】 琴浦町企画政策課

電話番号 (0858) 52-1708

ファックス (0858) 49-0000

メール kikaku@town.kotoura.tottori.jp

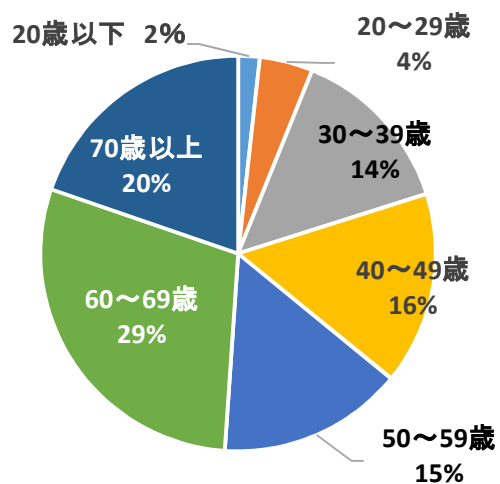
集計結果

【問1】 回答者について

性別	回答者数
女性	301人
男性	206人
無回答	3人
合計	510人

地区別	回答者数
八橋	111人
浦安	108人
上郷	14人
下郷	51人
古布庄	29人
赤碕	95人
成美	33人
安田	37人
以西	26人
無回答	6人
合計	510人

回答者（年齢構成）



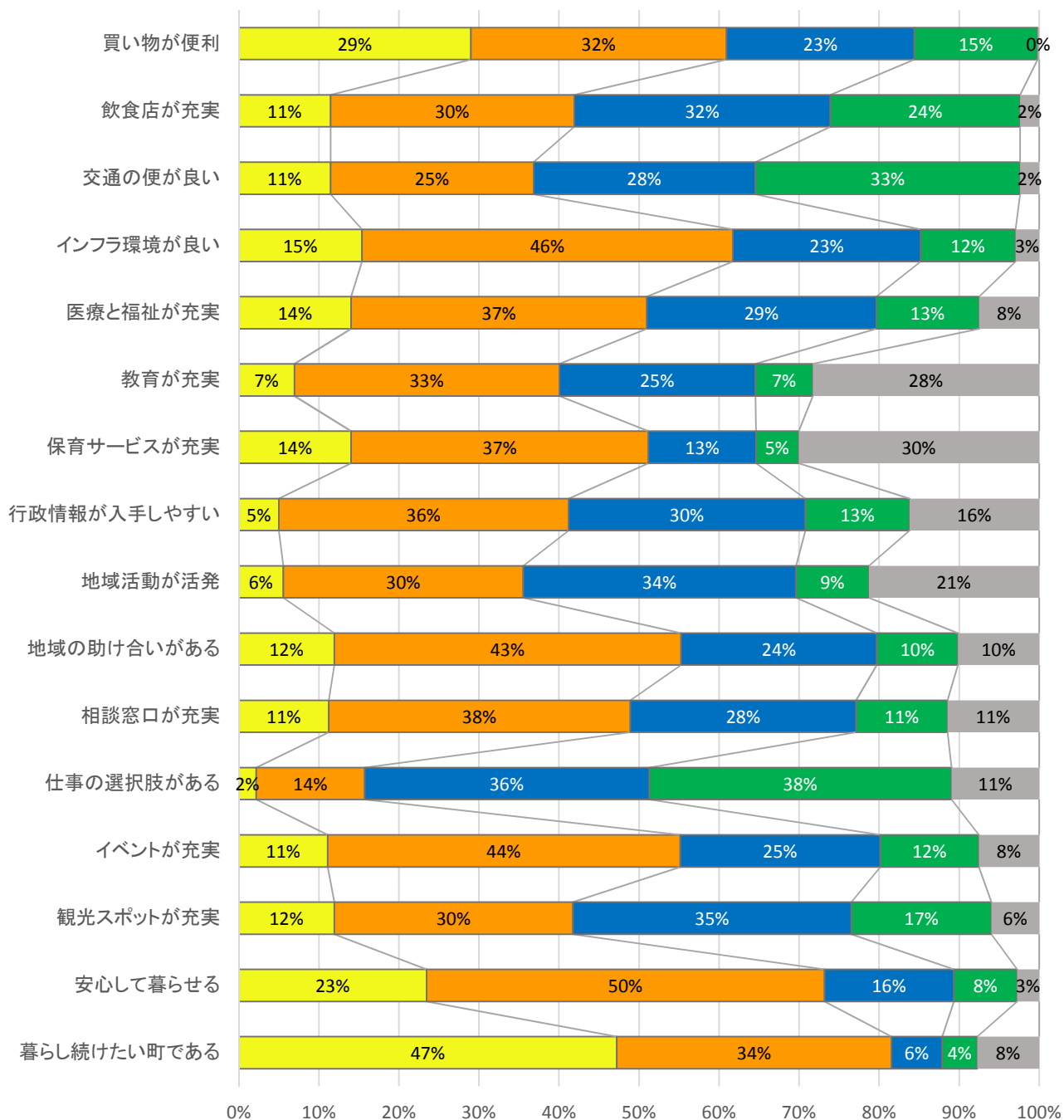
【問2】 琴浦町の暮らしについて

全体で見ると買い物の利便性、インフラ関係、暮らしの安心面などは比較的満足度が高い傾向にある一方、仕事の選択肢については極端に満足度が低くなっています。

回答者の80%以上が今後も琴浦町に住み続けたい意向がありました。

暮らしの満足度(全体)

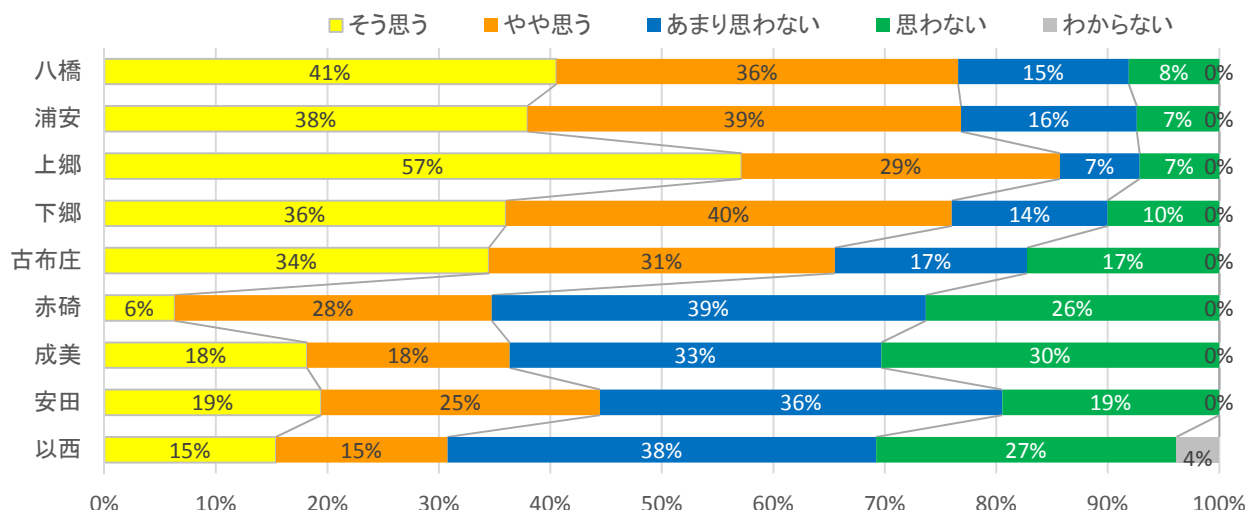
■ そう思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない



<<問2 満足度:買い物>>

東伯地区に店舗が多いことから、東伯地区では満足度が高く、赤碕地区では低い満足度となっています。

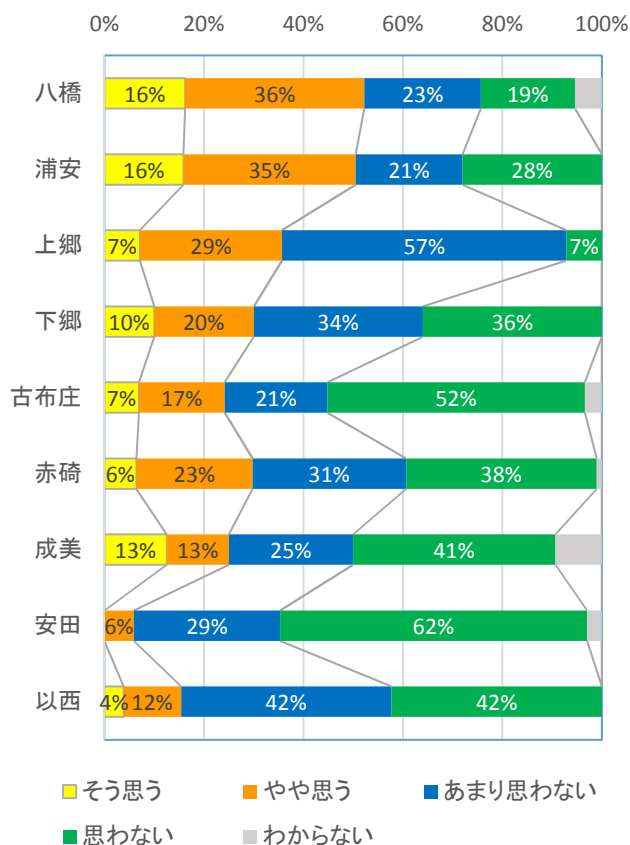
買い物をする店が多く、便利である(地域別)



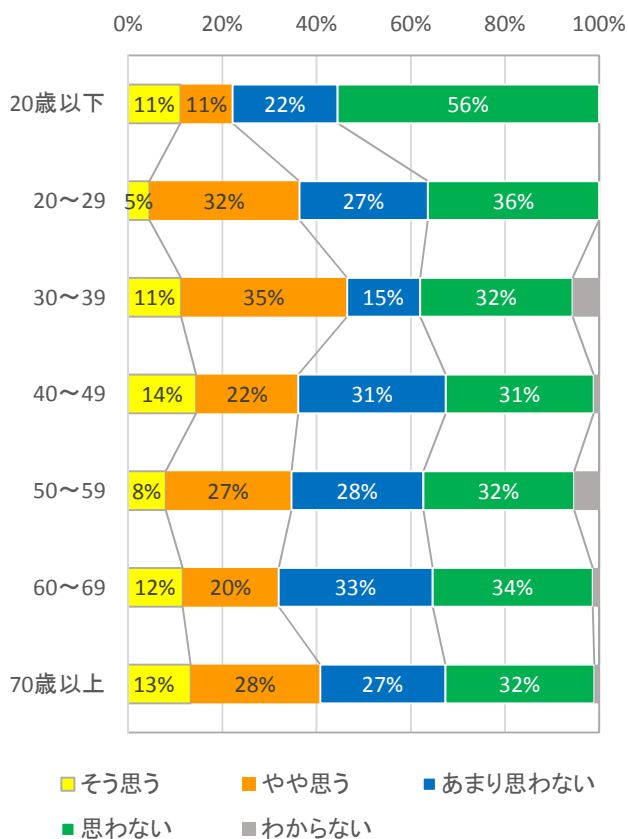
<<問2 満足度:交通>>

地域別に見ると、中山間地域ほど満足度が低いことから、今後検討が必要と思われます。

交通の便がよい(地域別)



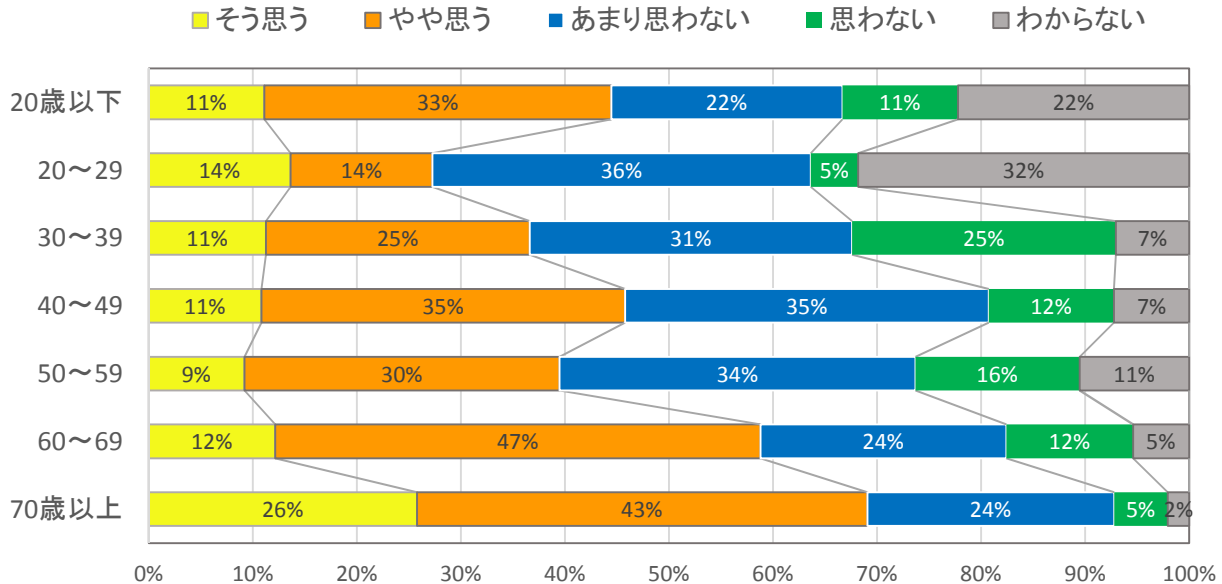
交通の便がよい(年代別)



《問2 満足度：医療機関と福祉サービス》

20歳以下は特別医療が充実しており、かつ小児科が町内にあるため、比較的満足度が上がっています。また年齢が上がるほど医療と介護に関わりが深くなることから認識も高まり、満足度も高くなっていると思われます。

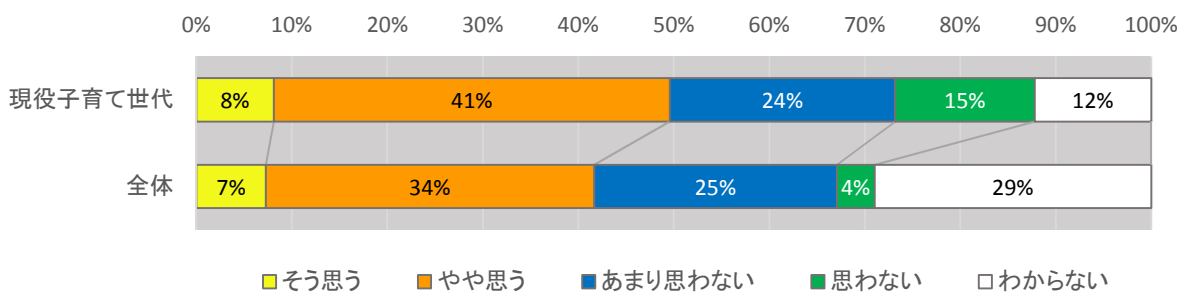
医療機関と福祉サービスが充実している（年代別）



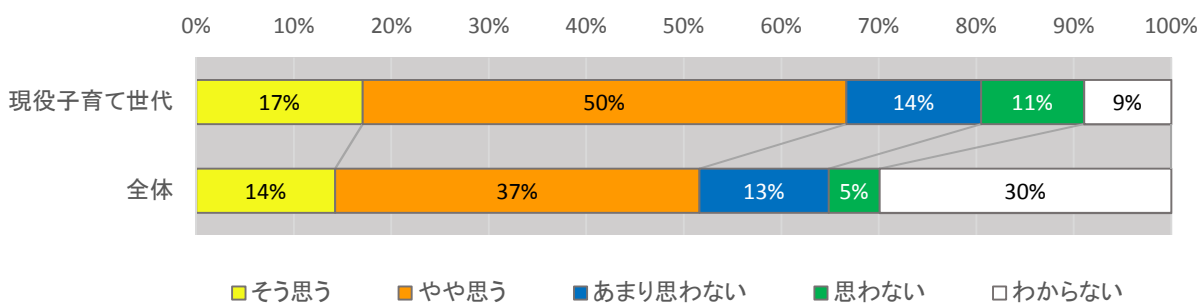
《問2 満足度：教育・保育》

全体としては現役子育て世代より満足度が低いことから、子育て施策・教育に対し手厚い施策を実施しているにもかかわらず、住民には広く認識されていないことがうかがわれます。子育て・教育施策のより一層のPRが必要となりそうです。

教育が充実している



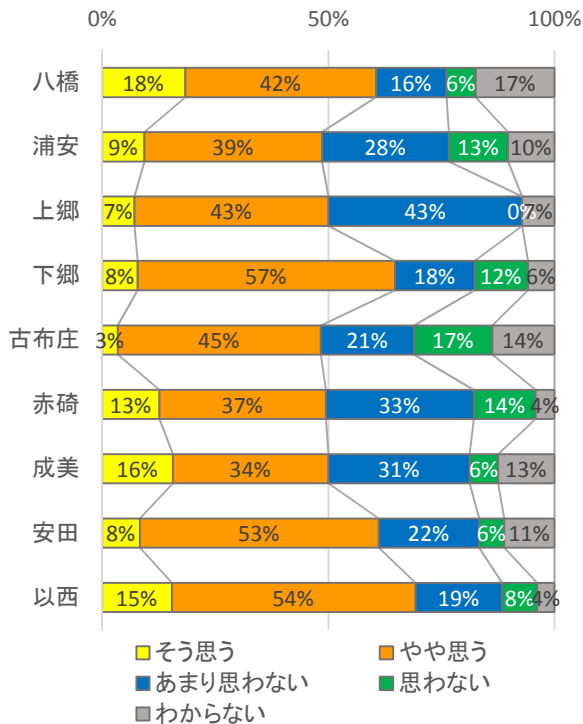
保育サービスが充実している



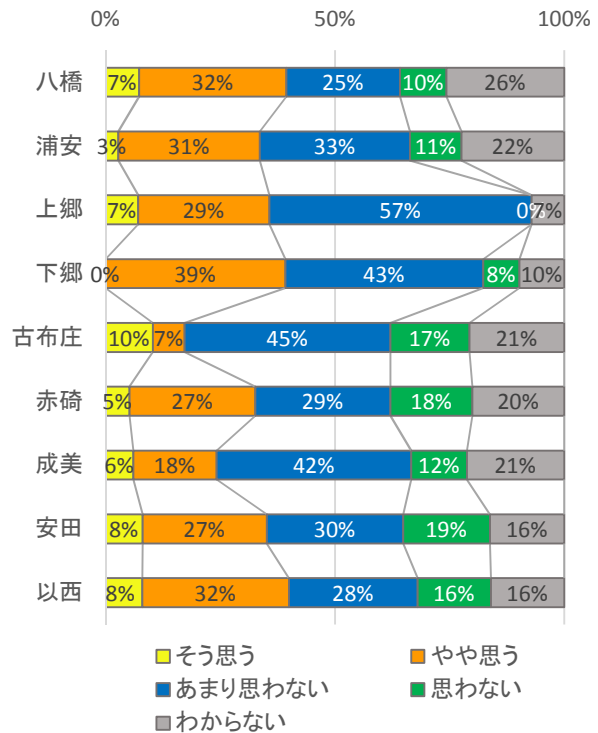
<<問2 満足度:地域の助け合い・地域活動>>

全体的に見て、半数が助け合いの風土があると答えた一方、地域活動についてはそれほど活発とわれていません。地域団体があっても地域の人に認識されていないといったことも考えられます。

地域での助け合いの風土がある



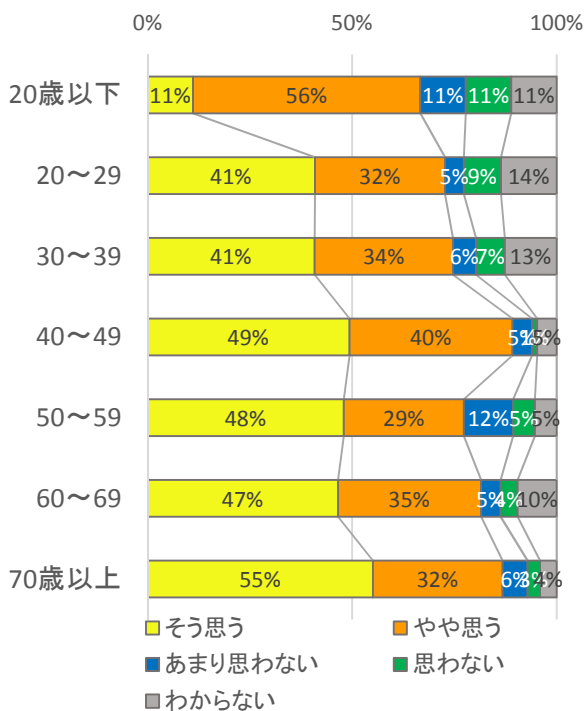
地域活動が活発である



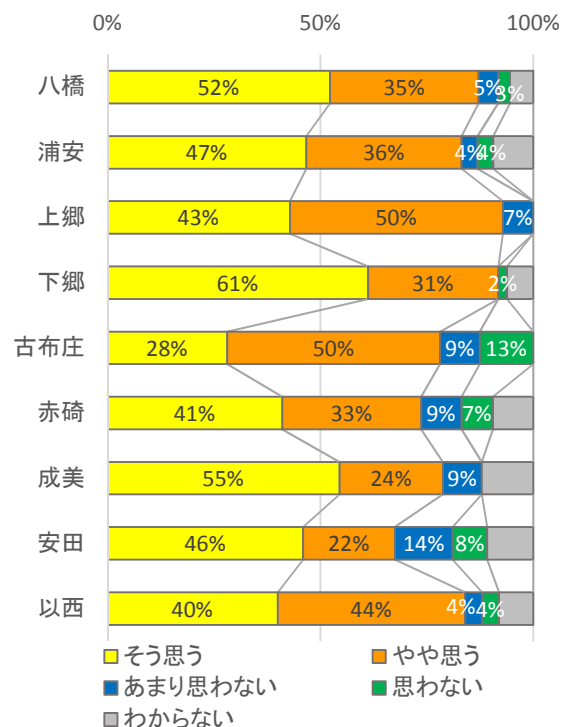
<<問2 満足度:暮らし続けたい町>>

年齢が上がるにつれて地域への愛着が生まれているのがわかりますが、これからの町を担う若者にこそ、より一層のふるさとへの愛着の醸成が必要となります。また、助け合いの風土がある地域ほど、暮らし続けたい意向が強くなる傾向がうかがわれます。

暮らし続けたい町である(年代別)

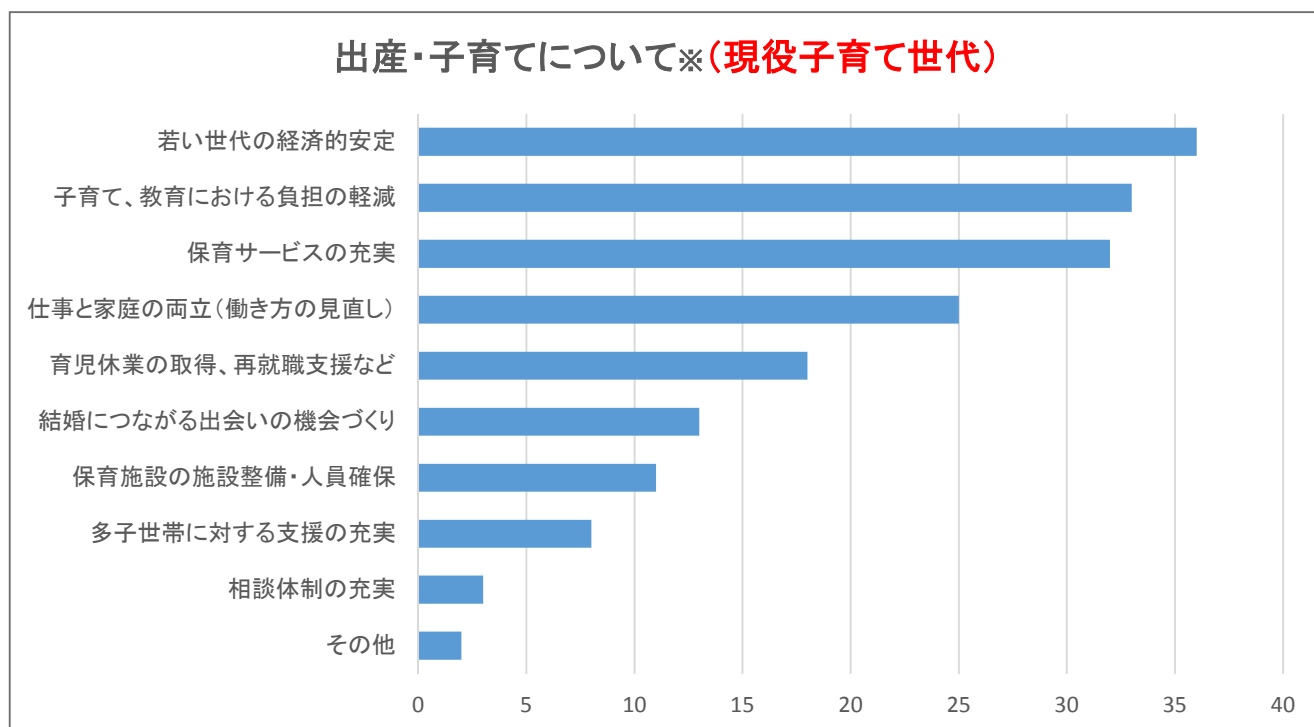
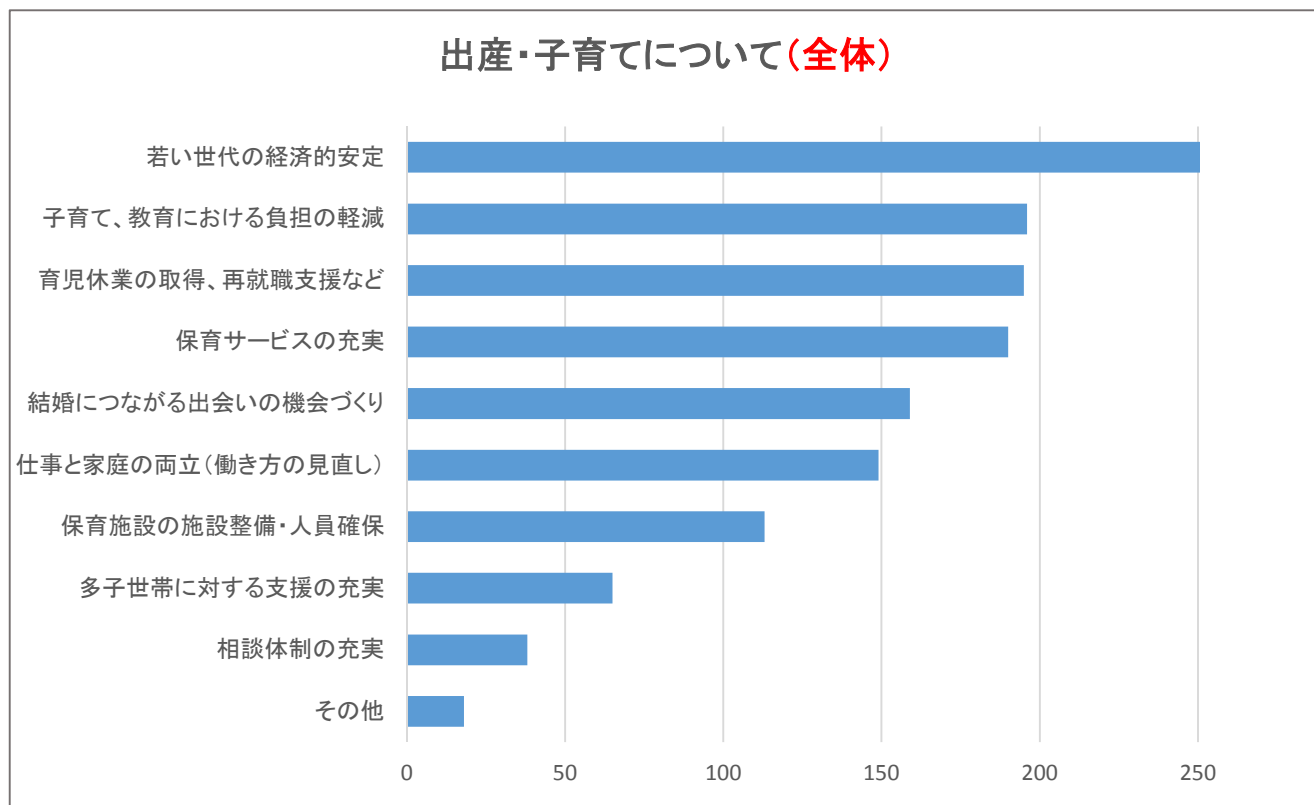


暮らし続けたい町である(地域別)



【問3】 出産・子育ての希望をかなえるため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

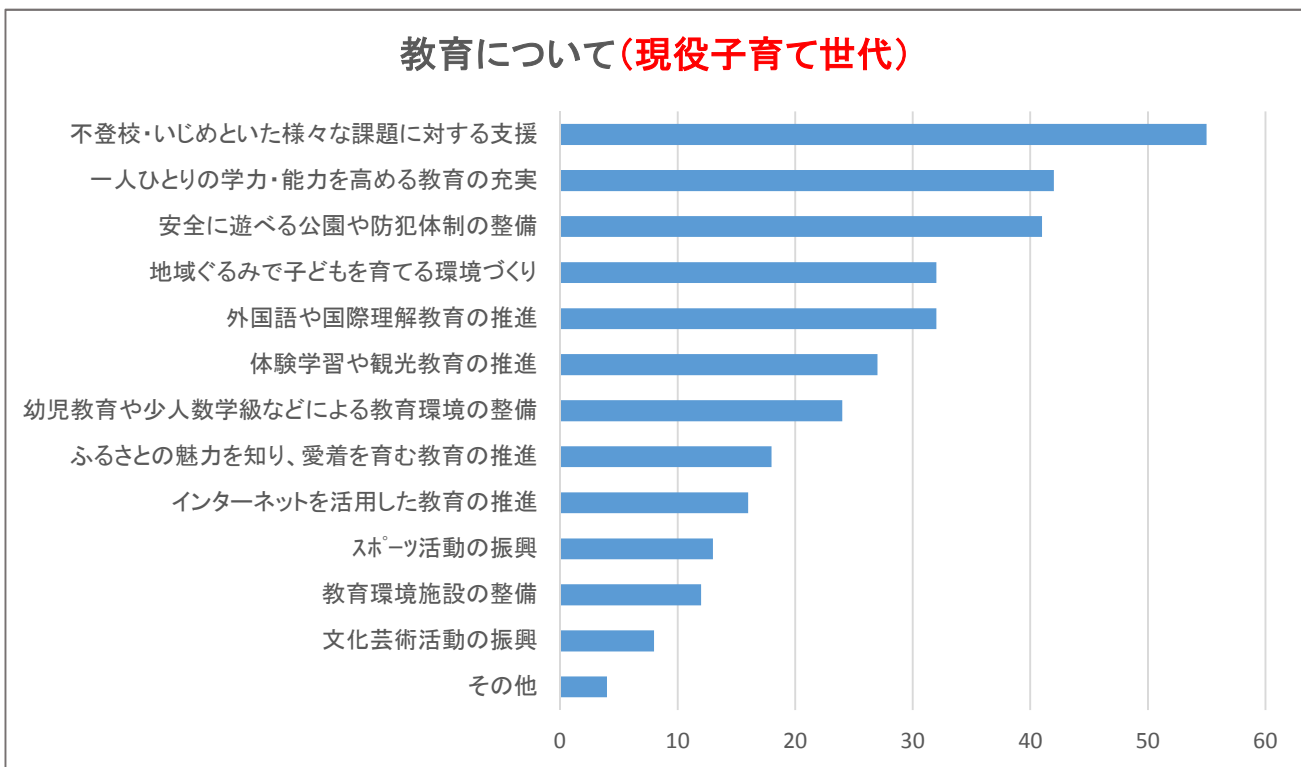
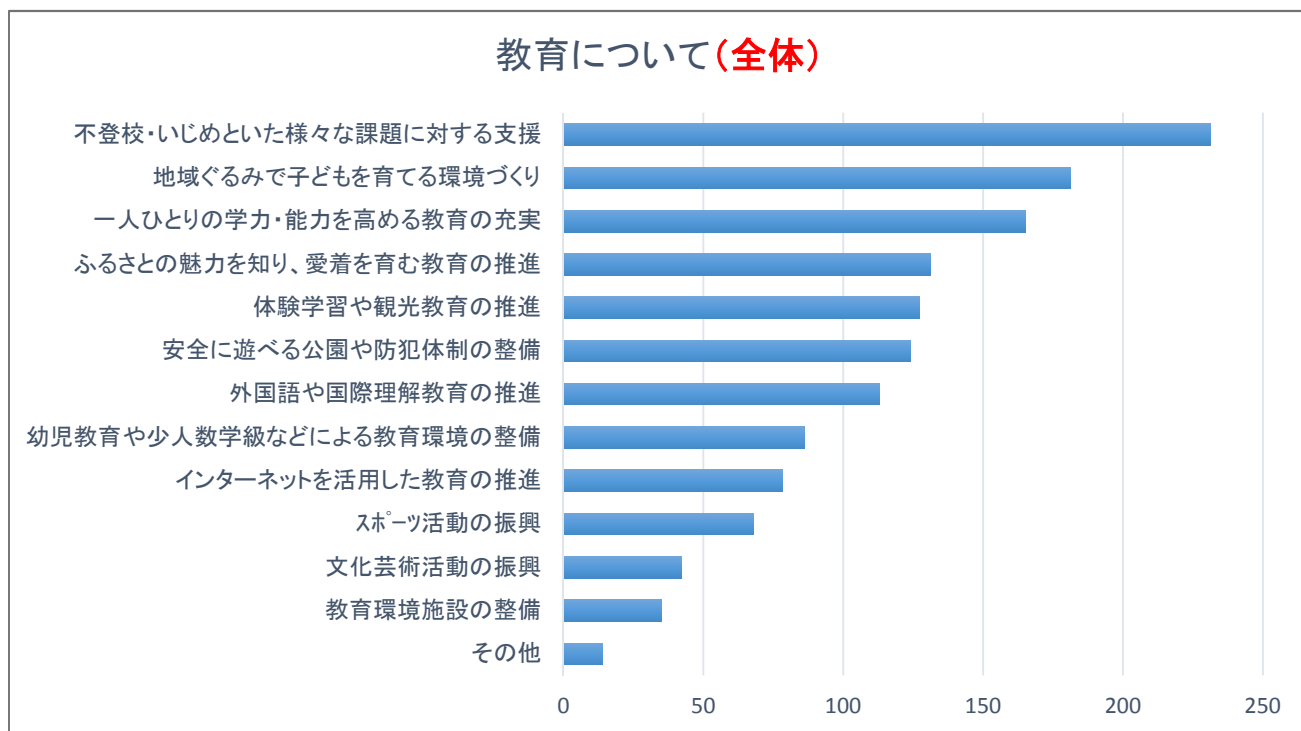
全般的に若い世代の経済的安定が求められています。子育て現役世代は経済的な負担軽減や、保育サービスの充実など経済面と仕事との両立に対する支援が必要とされています。



※現役子育て世代・・・現在18歳未満の子どもを養育している人

【問4】子どもたちの教育のため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

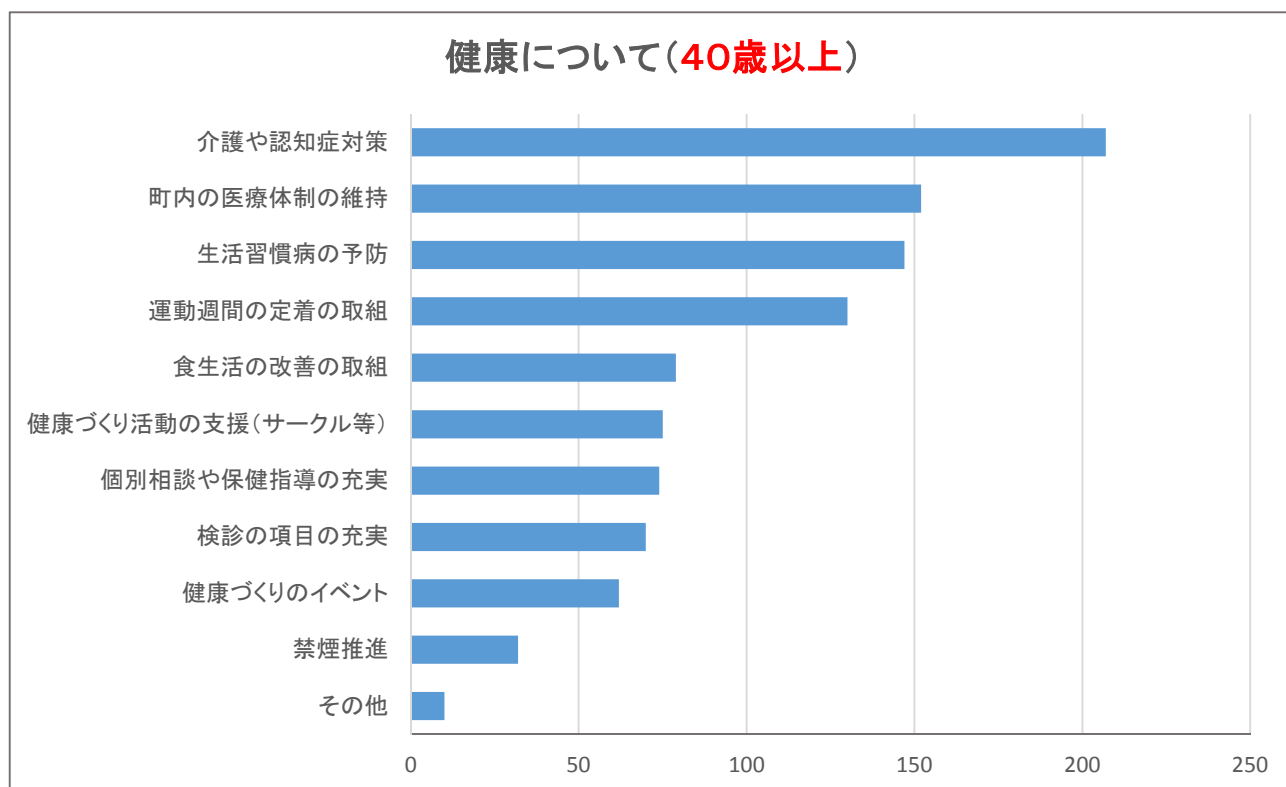
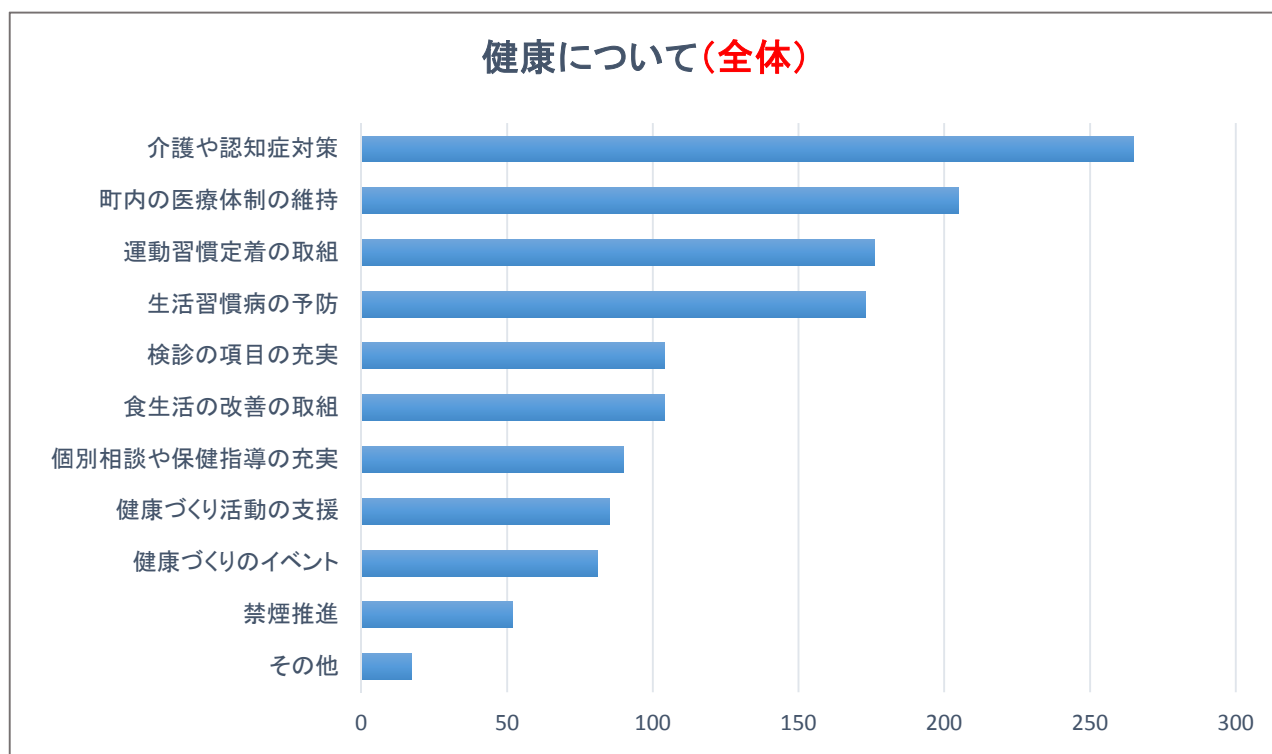
不登校やいじめといった個別対策の優先順位が高くなっています。全体で見ると、地域ぐるみで子どもを育てていくことの関心が高く、今後は「地域の力」に着目する必要があるようです。



※現役子育て世代・・・現在18歳未満の子どもを養育している人

【問5】健康に暮らし続けていくため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

高齢化社会が進む中、介護や認知症対策、医療に関する関心は高く、病気などへの予防の取り組みの重要性も認識されているようです。しかし、予防に直結する食生活や健康診断などは関心が低いことから、啓発が必要と思われます。



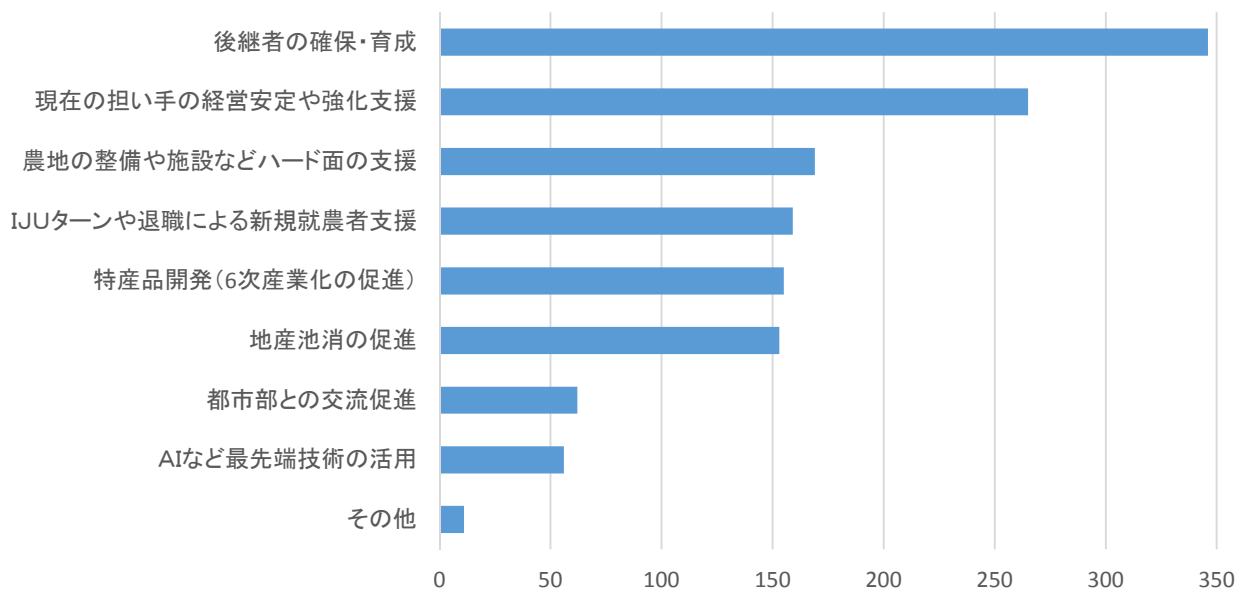
【問6】 農林水産業・商工業について(農林水産業)

農林水産業を振興するため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

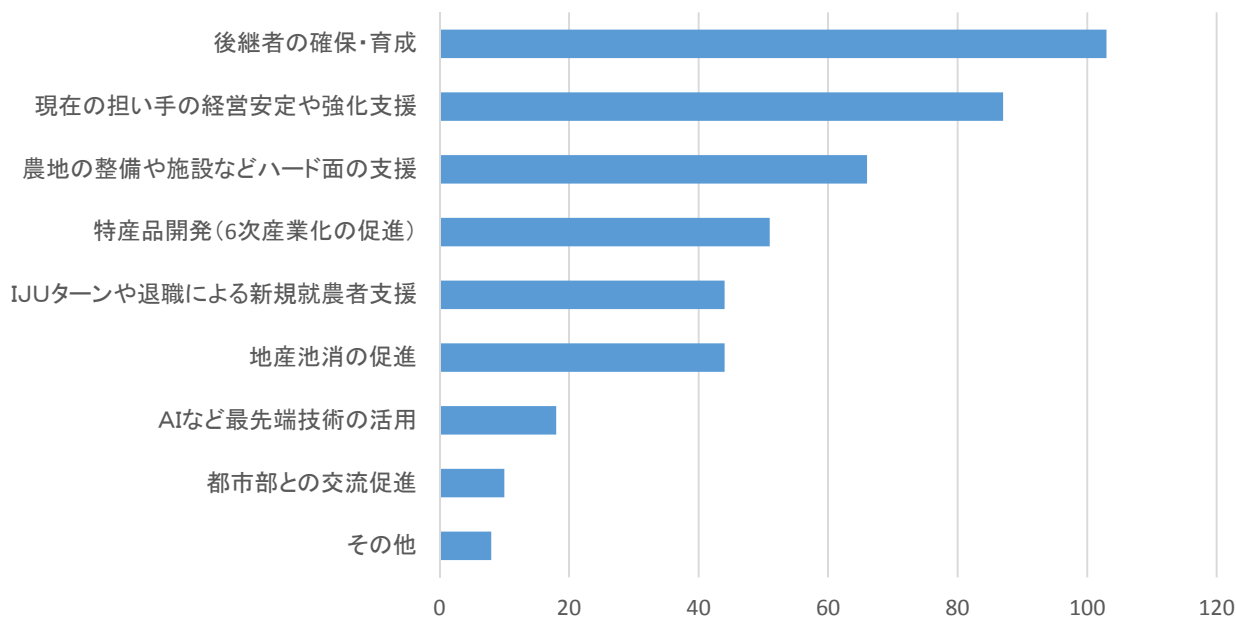
《農林水産業》

後継者確保は喫緊の問題であり、第1次産業が衰退していかないような仕組みづくりが必要とされています。現在の担い手の経営が安定し、より輝くことで次世代へとつながる足がかりとなりそうです。

農林水産業について(全体)



農林水産業について(農業従事者)

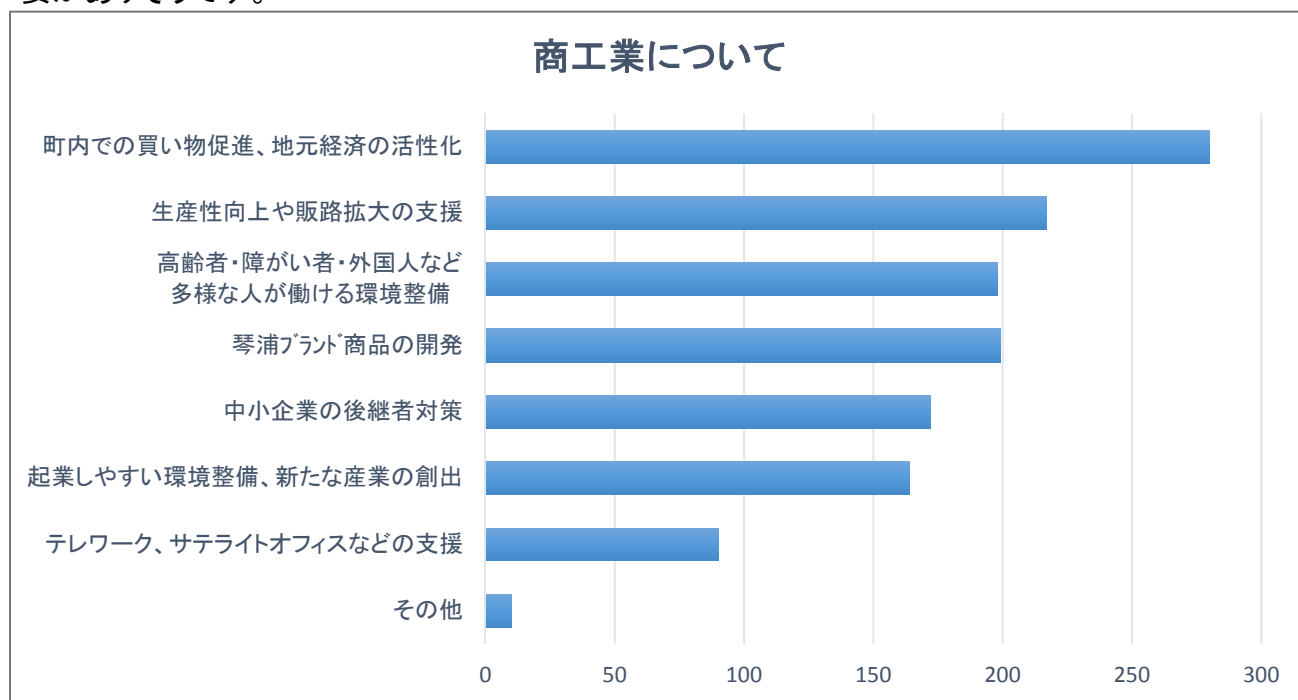


【問6】 農林水産業・商工業について(商工業)

町の商工業を振興するため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

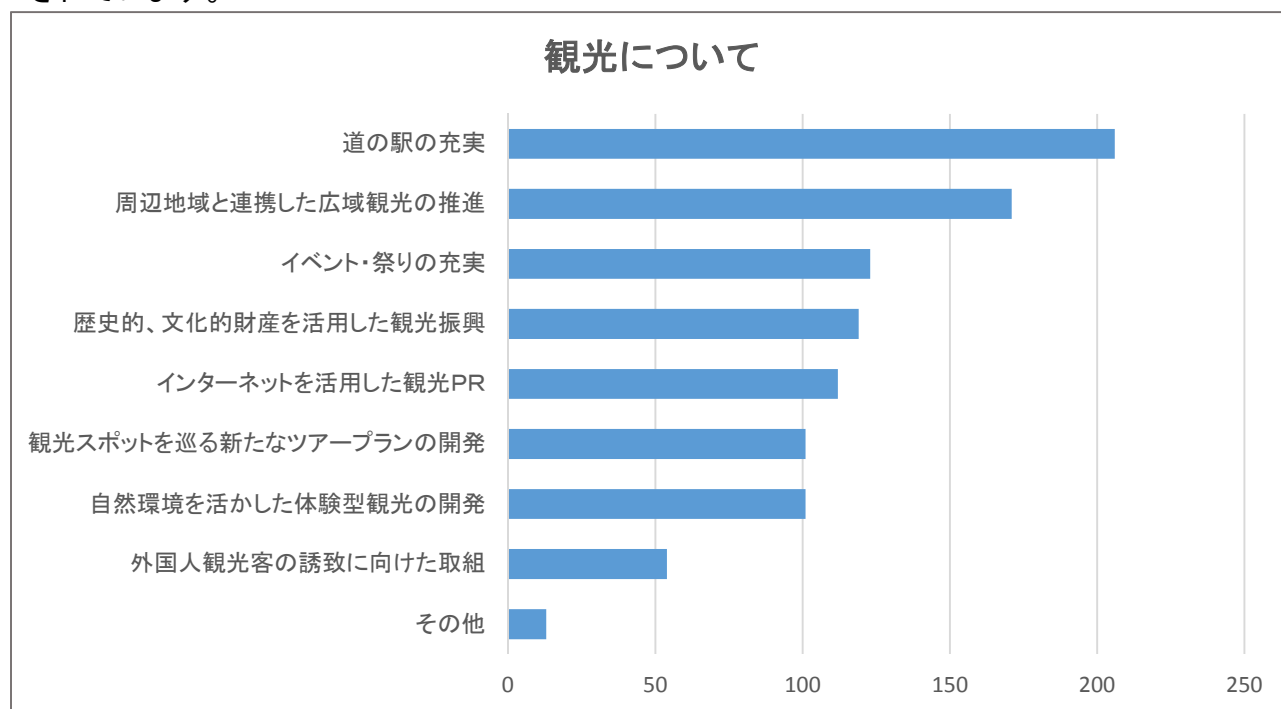
《商工業》

県内の町・村の中で最も事業所が多い町であるにもかかわらず、アンケートでは働く場の選択肢が少ないという意見が多かったことから、働きたい場所とのギャップも考えていく必要があります。



【問7】 町の観光を振興するため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

琴浦町に2つある道の駅の充実が注目されています。歴史的・文化財的観光資源もあることから、道の駅や周辺地域と連携した広域観光を視野に入れての観光戦略が必要とされています。



【問8】 琴浦町の将来展望や新たなニーズについて

●琴浦の自慢を一つ挙げるとしたら何だと思いますか？

順位	項 目	各項目の頻度順
1位	自然(海と山)	船上山(歴史含む)、大山滝、山と海が近い、自然のバランスがいい
2位	食べ物(農産物・グルメ)	①白バラ牛乳 ②梨 ③海産物 ④牛骨ラーメン ⑤和牛
3位	住みやすさ	程よい田舎、災害が少ない、人が優しい、静か、安全、病院やお店がある
	その他	白鳳祭(レーザー花火)、ふろしきまんじゅう、神埼神社、歴史(斎尾廃寺跡)、道の駅、釣り場が充実、八橋海水浴場、バス料金が安い、鳴り石の浜、サーモン

●これからのまちづくりについてご意見があればお聞かせください(自由記載)

《多かった意見ベスト3》

- ①若者が住みよい環境づくり(仕事場、遊び場など)
- ②子ども・子育て環境の充実
- ③子どもから高齢者までみんなが住みよい環境づくり

以下、自由意見は次のとおりです。

(若者関係)

- ・仕事先の確保(仕事の選択肢がない、若者向け企業の誘致)
- ・若者が住みたくなるようなまちづくり。IUターンができるまちづくり
- ・若者が好むアパートやカフェをつくる
- ・若者が興味を持つ仕事、施設、イベントを企画。(若者の流出防止)
- ・若者の意見を聞き、知ること
- ・若者に町内企業のPRをする

(子育て関係)

- ・子どもが増えるような対策、多子世帯などの支援
- ・子育てへの支援と周りの理解への啓発
- ・地域で子どもを育てる意識づくり(見守り活動など)
- ・子どものおもちゃや本が充実している店舗があればいい
- ・次世代のまちの担い手育成(地元を愛する心を育てる)
- ・琴浦町の魅力を子どもの頃から伝えていく取り組み
- ・現在、子育てサービスの充実を実感している
- ・ネット問題対策。自然を活かした子育ての取り組み
- ・子どもが喜ぶ学校給食を作してほしい
- ・親の教育(親育て)が必要
- ・湯梨浜町のような子育て環境づくり
- ・子育て支援センターで昼食を提供してほしい(有料可)

(高齢者・障がい者関係)

- ・高齢者が生き生き暮らせるまちづくり
- ・障がい者・高齢者の働く場の確保(環境整備)
- ・元気な高齢者が活躍できる仕組みづくり
- ・交通手段の確保(移送サービスの充実)

(全般)

- ・まちづくりを町全体で取り組んでほしい
- ・地域起こしの一本化(小さな取り組みが多すぎる)
- ・経済循環が機能する取り組み。意識変革。
- ・何でもあるが、琴浦町といえば「ここ」といえるところをつくってほしい
- ・人権が守られる町へ
- ・町外者への対応も大切ですが、何より町民の幸せを大切にしてほしい
- ・企業誘致(IC付近)、アウトレットやチェーン店を呼び込む
- ・駅前開発
- ・施設をつくってほしい
 - 大型商業施設、温泉、宿泊施設、温水プール、自然を活かしたテーマパーク(大きな公園)、ガソリンスタンド(道の駅)
- ・町民運動会はいらない(必要性を検討してほしい)
- ・災害に強いまちづくり
- ・自動車免許がなく、外出がしにくい。コミュニティーバスは前もっての予約も困難
- ・交通の便をよくしてほしい(公共交通など)
- ・遊休農地対策
- ・つりメッカの復活
- ・歴史的財産の活用
- ・自然豊かな町、災害の少ない町、第2の人生はのんびりできる場所
- ・ふるさと納税で第3セクを企業
- ・空きや対策、放置された土地、使われていない公共施設の有効活用(廃校を水耕栽培施設へ)
- ・町の施設の情報発信がもっと必要
- ・図書館にカフェがほしい
- ・町職員の意識改革(行事への参加)
- ・行政に依存しない。行政はメインで動かず、支援に徹する
- ・イベントについて
 - 花火大会、サイクリングイベント、マラソンイベント、果物イベント・・・
 - たくさん行事があるが、すべて見直して全員参加型がひとつあればいい
 - 唯一無二の行事をひとつつくと皆がそれに向けて参加してくれる
- ・琴浦町PRのための
 - 自然体験ツアー(農業、海と山、田舎暮らし、釣り→料理、雪合戦、歴史散策など)
 - 観光やグルメのPRをもっと(情報発信)
 - 来町者からの意見徴収

たくさんのご意見をいただきありがとうございました。